

# 「高齢期のリハビリを考えるシンポジウム」から

## 多職種が支える在宅リハビリ

昨年九月三十日に開催した「高齢期のリハビリを考えるフォーラム」のシンポジウムにおける発言を掲載します。

フォーラムの総司会を協会理事の藤井久丈氏が務めました。議論では、本人のモチベーション維持をどうするか、また、増える高齢者と少ない専門職との関係についても議論になり、「専門職だけでやるのがリハビリではなく、多職種すべてが関わっていくもの」との発言がありました。



←会場となったボルファートとやま2F 真珠の間



藤井久丈氏

### 生活期リハビリの現状と課題



室谷ゆかり氏

生活期のリハビリを行うにあたり、急性期から回復

期を経て生活期に移行する患者さんは十五%ほどしかいません。八十五%の患者さんは、病気を治した病院からそのまま自宅に帰られています。リハビリが生活期の中で生かされていくためには様々な課題があると思います。

座長	室谷 ゆかり 氏 (アルペンリハビリテーション病院・医師)
	矢野 博明 氏 (矢野神経内科医院・医師)
	村井 敏美 氏 (訪問看護ステーションふかがわ・看護師)
	堀尾 敏三 氏 (南砺市民病院・理学療法士)
	金岡 さち子 氏 (訪問看護ステーションフィット・理学療法士)
	田邊 はるみ 氏 (老人保健施設みしまの苑一穂・作業療法士)
	亀谷 浩史 氏 (富山協立病院・言語聴覚士)
	小林 岳志 氏 (小林歯科医院・歯科医師)
フロア	中山 信子 氏 (北陸メディカルサービス・ヘルパー)
	生駒 裕子 氏 (ケアステーションあざみ・ケアマネジャー)
助言者	石川 誠 氏 (初台リハビリテーション病院理事長・医師)

矢野 開業して二十八年目を迎えます。在宅医療を中心に、障害があっても住み慣れた地域で生き続けたいという要介護者にできる限りのリハビリを届け、地域完結型の多職種連携を進めていくことを理念としています。二〇〇六年の診療報酬改定で医療保険のリハビリに

一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して



村井敏美氏

次に先輩PTの堀尾さんにお聞きします。病院から施設や自宅、生活につなげていくとき、どういうことをスタッフに教えていますか。リハビリスタッフが行う機能訓練というのはあくまでも限定されたもので、生活というものになったと

医療の日数制限で多くは介護保険の通所リハビリに

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

病院では一年中一定の環境ですが、自宅では季節によって患者さんの体調が変化します。また、家族関係などの人間関係も影響してきます。メンタル面が影響して

一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリっていったいなんだらう」ということです。訪問リハビリに何つた際に、ご家族に「トイレはこうした方がやりやすいですよ」と、話をすることに時間をとられてしまうことがあります。すると、本人は足をあげる練習をリハビリだと思っていないので「今日はリハビリしないのか」と

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。



矢野博明氏

どのように対応していけばよいかの悩みました。外来では、日数制限が除外される疾患の方や、介護保険の対象にならない若い患者さんなど医療保険のリハビリで対応できる方はほんのわずかです。多くの患者さんは介護保険の通所リハビリが中心となっています。

通所リハビリは老健施設や医療機関が開設できます。一定のリハビリを提供できない場合があります。通所リハビリについては、ケアマネジャーのアセスメントがどうなのだろうと思うときがあります。通所リハビリをデイスーパーの代わりのようにして、一日預けるだけという感覚の方もいます。また、急性期のリハビリが終わって、そのままケアマネジャーなども関係せずに退院、家で寝かせたりリックスしてしまったりリハビリが続かなくなり

「リハビリの意味の取り違いが一般的に広がっていて、リハビリというと、いつの間にか筋力をつける運動や歩行練習などのイメージが定着していることが問題ではないかと思っています。もしかしたら、リハビリに関わる人もそう勘違いしているのではないかと。二〇〇一年のWHO総会で、障害

私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。

### 多職種との連携 家族の協力

次に先輩PTの堀尾さんにお聞きします。病院から施設や自宅、生活につなげていくとき、どういうことをスタッフに教えていますか。リハビリスタッフが行う機能訓練というのはあくまでも限定されたもので、生活というものになったと

き、そこどう踏み出せばいいのか。若い専門職に対してどのように関わっていくか教えていただきたいです。

堀尾 その人がどう生きたいか、どう生活したいのかということを受け止めて、感じていくことが我々専門職の本命だと思っています。本人の希望を聞くと、みなさん自宅に行くのが目標で、その先の目標をみつけたいとそこで終わってしまう。在宅に戻りたいという人をどう支援していったらいいのか、ということから在宅のリハビリがはじまっ

生活を見る、社会と地域の中で生活していく人を見るのがリハビリだと思えます。社会への参加、それを後押しすることがリハビリだと思っています。

室谷 私たちが在宅で利用者さんに関わる時、医師、看護師、PTなど専門職として、どのような意識をもってその方に関わろうとするかによって、その方の生き方、生活の仕方が変わっていくことを感じています。金岡さんが言われた、そもそも「リハビリとは何か」ということを私たちはいま一度、問い直すことが大切です。